

ばば焼き

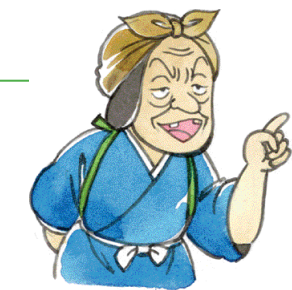
日高まつわる昔話 今でも4月14日には松岡御柱祭が行われ、なぜその日は強い南風が吹くといわれています。

今から七百年以上も前のお話です。そのころ京都では、承久の変があり、とらえられた雅成親王は、都から遠く離れた但馬の高岡の里(豊岡市高屋)に移されました。

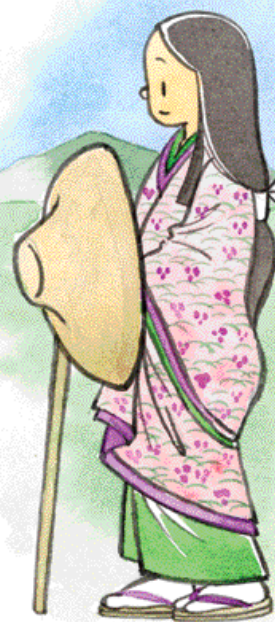
都に残ったお妃の幸姫は、親王の身の上を心配されていました。お腹にお子ができていることがわかると、春を待ちかねて、侍女を一人連れて、但馬へ旅立たれました。

そして、松岡の里(日高町松岡)までたどり着かれた頃には、桜の花が咲いていました。

ひと休みしていると、近くで洗い物をするおばあさんに出会い、「ここから高岡の里へは、まだまだ遠いのでしょうか」と尋ねました。



「高岡は知りませんが、この道筋に高屋という所があります。けれど、そこへはまだ、九日かかる九日市、さらに十日かかる豊岡があって、その先には人を取る一日市があり、合わせて二十日



はかかりましょう」と答えました。老婆は三里(約十二キロ)にもたらぬ道を、まことしやかにそういと立ち去りました。

これを聞いた幸姫は、もう二、三日の旅さえおぼつかないのに、これからまだ二十日以上も旅を続けるなど、「と嘆き、「死後必ず、南風となつて高屋へ達しましうぞ」と言い残し、前を流れる円山川へ入って行かれたのでした。

村人たちがすぐに助けましたが、王子を産み落とされた後、ついに息を引き取ってしまった。その夜中過ぎから南風が強くなり、大雨が降り、円山川は大洪水となりました。

村の人々はうそをついた老婆を罰し、そして、幸姫の御霊を十二所神社(松岡)へ祀りました。毎年、姫の霊をさげる行事が続いています。

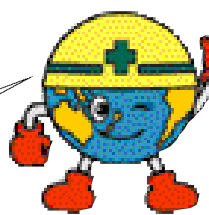
「土木の日」

11月18日(火)

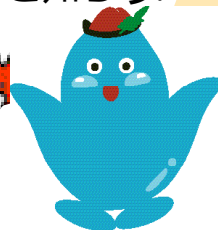
「土木」のことをもっと知ろう!

「土木」って知ってる? 「土木」ってどんな仕事してるんだろう?

私たちの暮らしを守り支えている土木のことを知っていただくために今年度も楽しいイベントを予定しているので、気軽に遊びに来てネ!



「土木」イメージキャラクター ドボツ君



「円山川」イメージキャラクター ぶるるん



チーちゃん

モックン

映画『SUPPINぶるうすザ・ムービー』STORY
 せこいひったくりで生計を立てている幼なじみの鉄旗(今井雅之)と文佐(岡安泰樹)2人は「性転換手術をしてストリッパーになりたい」と願う仲間、お瑞(新山千春)の夢をかなえるため借金をかかえ、ド田舎の「このとり信用銀行城崎支店」の強盗を計画。そこに、性転換を終えたお瑞が加わったため、さらに話がややこしくなる…。そして、銀行へ強盗に入ったが…。

**ただ今、エキストラ100人
 (10月撮影予定)大募集!**

詳しくはエル・カンパニー
<http://www.ceres.dti.ne.jp/elle-co/>
 TEL 03-3760-7363
 もしくは城崎温泉観光協会
<http://www.kinosaki-spa.gr.jp/>
 TEL 0796-32-3663



映画
 vol.2
熱血 談義

今

井

雅

之

いよいよ、映画『SUPPINぶるうす』の撮影が城崎で始まる。10月16日、31日まで城崎・豊岡でのオールロケとなる。気合充分!

『SUPPINぶるうす』は、世界一ドジな銀行強盗がろう城するストーリーである。その舞台となるこのとり信用銀行は城崎の内川村役場跡地を借り受けた。また、高校時代、毎日のように通っていた豊岡劇場さんも映画の1シーンに使わせてもらえることとなった。昔とまったく変わっていかなくて驚いた。役者になりたいと思った原点で、映画が撮れるなんて、とても不思議な感じがした。そして、夢はかなうものだとしみじみ思った。

今回の映画製作にあたって、大きなバックはついていない。スタッフもみ

んな、いい作品をつくらうと集まってきた人たちが。出演してくれる俳優たちも個性派揃い。舞台から一緒にやってきた同士のような人もいるし、新山千春さんのように新しい役体当たりで挑戦してくれる人もいる。

『SUPPINぶるうす』の「SUPPIN」とは、素っぴんのこと。化粧をしていないこと、素顔のままであることの意味である。役者であるためには「素っぴん」でないと演じられない。しかし、だんだんと恥ずかしいのプライドが許さないと、言いつけはじめる。演じることにプライドなど関係ない。自分の生き方を信じて、この映画をつくる。

但馬の皆さん、エキストラを募集
 中!但馬でつくる映画にぜひ参加を!



【PROFILE】

1961年4月21日、兵庫県城崎郡日高町に生まれる。
 1986年 奈良橋陽子演出「MONKEY」で舞台デビュー
 1987年 ドラマ人間模様「婚約」(NHK)でテレビデビュー
 1991年 文化庁主催芸術祭において「WINDS OF GOD」で史上初の原作・脚本・演技の三役で受賞
 1993年「WINDS OF GOD」で国際連作家協会芸術賞受賞
 1995年「静かな生活」で日本アカデミー賞優秀助演男優賞受賞、キネマ旬報日本映画新人男優賞受賞
 1999年「WINDS OF GOD」ブロードウェイでロングラン公演
 2001年「カッコーの巣の上を」全国ツアー公演
 2002年「MAKOTO ~ゆく年くる年 Hello,X'mas~」全国ツアー公演